

青少年交換委員会 来日学生一泊研修会 報告

青少年交換委員会 委員 **松岡一郎**
(大阪RC)

開催日：9月20日(土)・21日(日)
場 所：立杭 陶の郷・有馬温泉 古泉閣
出席者：来日交換学生10名、青少年交換委員会
メンバー、ROTEXメンバー、事務局32
名、日本伝統音楽奏者3名

来日学生一泊研修は、海外から来て間もない来日学生を対象に、日本の文化を少しでも知っていただき、また日本での世話役であるロータリアンやROTEXのメンバーを互に知ることと、日本での生活環境に慣れていただく目的で開催されました。

まず1日目お昼の12時集合し、始まりは、井村委員のお世話で、兵庫県篠山市の施設、立杭 陶の郷にて、陶芸体験をしていただきました。事前にグループ分けを行い、青少年交換委員会のロータリアンのプライベートカー 10台に、来日学生、ROTEXメンバーを乗り合わせし、グループ毎に、留学生とROTEXメンバー皆で、陶芸の先生の指導を受け、粘土をこね、ろくろを廻しながら、陶芸作品の制作体験を実施。陶芸体験の後、鎌倉～江戸時代の「古丹波」の名品の数々と、現代作家55名の最新作の展示を見学し、緑青色をした自然釉の美しさや、赤土部釉、白釉壺など、他に類を見ない独特の魅力ある作品を観賞いたしました。

14時半に、陶芸の郷を後にし、15時に宿泊先である有馬温泉 古泉閣に到着。到着後すぐに、大阪RCの高杉会員のお世話で、約2時間の研修である尺八、琴、三味線の日本の伝統音楽を鑑賞、来日学生に、琴、尺八、実際の楽器に触れ実際に、自分で音を出す体験もしていただきました。17時半ごろに、本日の研修が終わり、各自、ログハウスと部屋に移動、休憩。19時から、素敵な場所で夕食、綺麗なプールサイドにて、参加メンバー皆でバーベキューをいただきました。

夕食後は、ROTEXメンバーが中心になり、参加者全員の名前を正確に覚えるために、考案した伝言ゲームを実施しました。このゲームは、来日学生、ROTEX、ロータリアンの全員参加の表現力とチーム

ワークのよさを問われる伝言ゲームで、お互いを知り合うよい機会になったように思います。ゲームが終わり、各自部屋に戻り、お風呂に入り、11時ごろ就寝。

朝8時、再びプールサイドに集合、iPhoneの小さな音で、皆でラジオ体操を行い、バイキング形式のサラダと卵料理の朝食。朝食後、来日留学生全員10名の名前と顔を参加者全員に、覚えて帰ってもらうために、自己紹介と感想発表、質問を実施しました。朝10時、古泉閣をチェックアウトし、有馬温泉街の散策を実施。30名以上で2列に並び有馬温泉街まで歩き、また、グループ毎の自由散策を実施して、有馬温泉の街、お店などを見学しました。

12時、ランチは有馬食堂にて、カツ、野菜のカレーライスを出席者皆でいただき、再び歩いて古泉閣の駐車場に戻り、各自、来日学生をホストファミリーまで送り届け、2日間の研修を無事終了しました。

青少年交換委員会の予算が少ない中で「来日学生の一泊研修会」を昨年度に引き続き2年担当させていただきました。青少年交換委員会は、海外と日本を相互につなぐ架け橋と世界平和につながる有益な事業を行う、ロータリー活動の重要な役割を担った委員会であると思います。委員長をはじめ、委員の皆様、協力ロータリーメンバー、協力ROTEXメンバーの博愛の精神に支えられながら、この行事も今年も開催でき、また無事終了することができました。

次年度以降、青少年交換委員会の予算が、従来と比べ大幅に減少することです。各種行事の内容の質を維持することや活動そのものを従来通りできるのが心配されることです。今のままでは、活動予算の寄付を集めたりすることも行う必要も出てくるでしょうし、活動予算獲得活動も青少年交換委員会の今後の課題であると思います。

青少年交換委員会とROTEXの活動が次年度以降も有意義に活発になることを祈念しています。

